

試合番号 : 409	試合会場 : 日立市池の川さくらアリーナ	観客数 : 733			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:30	試合時間 : 01:30			
主審 : 渡部 菜保子	副審 : 菅原 潤				
日立Astemoリヴァーレ	通算 9勝 12敗 ポイント: 27	25 第1セット 21	0	NECレッドロケッツ	通算 12勝 7敗 ポイント: 38
監督コメント 今日はホームの力をお借りして勝利することができました。とても嬉しく思います。皆さんの一体となった熱い応援に励まされました。ありがとうございます。攻める姿勢を持ち続けること、ディフェンスから攻撃につなげることを重点にして、全員が共通の認識を持って試合に入りました。ミッドブロックを多く使ったことで、良いリズムで試合を運ぶことができました。目指して、明日も気を抜かず一丸となって戦います。引き続き応援をよろしくお願いいたします。	3	25 第2セット 19	0	監督コメント 本日もたくさんの応援をありがとうございました。いつものチーム状況ではありませんでしたが、一人一人がやるべきことは変わりません。選手、スタッフそれぞれができることはたくさんあると感じているので、もう一度チーム一丸となって挑んでいきます。明日も熱い応援をよろしくお願いいたします。	
		25 第3セット 20			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 第1セット、序盤から一進一退の攻防となるが、日立Astemoリヴァーレは長内のスパイクなどの連続得点で流れを掴む。追いかけるNECレッドロケッツは古谷、原嶋のスパイクから得点を重ねるが、日立Astemoは渡邊のブロックが決まりリードを守る。勢いに乗った日立Astemoがそのままセットを先取した。第2セット、序盤から互いに一歩も譲らず一進一退の攻防となる。日立Astemoは長内のスパイク、入澤のサービスエースで中盤にかけてリードし、NECを突き放す。NECはメンバーチェンジから流れを変えようとするが、日立Astemoは上坂や野中が得点を重ね、セットを連取した。第3セット、序盤、日立Astemoは長内、NECは島村の攻撃を中心に得点を重ねていく。中盤、日立Astemoが上坂の攻撃を中心に得点を重ねてリードを広げるが、NECも古谷の攻撃などで点差を縮める。しかし、終盤に日立Astemoが渡邊のブロックで完全に流れを掴み、勢いに乗った日立Astemoがセットを取り、勝利を手にした。					

試合番号 : 410	試合会場 : 埼玉県立武道館	観客数 : 850			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:38	試合時間 : 01:38			
主審 : 村中 伸	副審 : 品川 美帆				
埼玉上尾メディックス	通算 13勝 6敗 ポイント: 37	25 第1セット 18	0	岡山シーガルズ	通算 5勝 14敗 ポイント: 18
監督コメント 地元・上尾市民のたくさんのファンの方に勝利をお届けすることができて大変嬉しく思います。今回は、岡山の粘り強いレシーブや巧みな攻撃に対して、我慢強く自分たちのバレーを貫こうと準備してきました。選手たちが試合の序盤からアグレッシブに攻める姿勢を示してくれました。明日はまた新たな試合になるので、今日よりも1%でも良くなれるように団結して臨みたいですね。ご声援ありがとうございました。	3	26 第2セット 24	0	監督コメント 第2セット、うまくリズムを作り勝利するチャンスがありながら焦りが出てチャンスを逃してしまいました。先週、ホームゲームでの連勝がプレーに甘く出てしまったように思う。あくまでも岡山の結束力のルールをベースに頑張りぬくことが大事である。明日は気持ちを切り替えチャンスを生かせるようお互いが理解しやり切っていきたい。本日は、熱い応援ありがとうございました。明日もよろしくお願いいたします。	
		25 第3セット 17			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 今季初対決となる埼玉上尾メディックスと岡山シーガルズの一戦。第1セット、立ち上がりで埼玉上尾の内瀬戸がブロックを決めると、そのまま埼玉上尾がリードする展開となる。岡山も長瀬や中本のスパイクなどで逆転するが、埼玉上尾はセッター岩崎の繰り出す多彩なトスで、ロジャや佐藤が力強いスパイクを決めて突き放す。最後は内瀬戸のスパイクで第1セットを先取した。第2セット、勢いに乗る埼玉上尾は内瀬戸の連続サービスエースで一気に点差を広げるが、中盤、岡山はリリーフサーバー高柳のサーブで、相手のサーブレシーブを崩し、中本やタナッチャのスパイクで連続得点を重ねて同点に追いつく。その後激しい攻防となるが一歩及ばず、最後は埼玉上尾が佐藤の鋭いクロススパイクでセットを連取した。第3セット、序盤は両チームとも粘り強いレシーブをつなぎ長いラリーが続く展開となるが、埼玉上尾はロジャや青柳などが高さのあるスパイクで徐々にリードを広げると、山岸の安定したレシーブで守備を固め、速い攻撃で一気に攻め、最後はに井田がライトからの攻撃を決めて3-0でこの試合を制した。					

試合番号 : 411	試合会場 : ありそドーム (魚津テクノスポーツドーム)	観客数 : 1,180			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:33	試合時間 : 01:33			
主審 : 森口 豊	副審 : 岩井 好恵				
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 7勝 12敗 ポイント: 19	25 第1セット 20	0	トヨタ車体クインシーズ	通算 11勝 10敗 ポイント: 30
監督コメント ホームゲームで勝利できたことを非常に嬉しく思います。第3セットは苦しい状況でしたが、各々がやるべきことをコート上で体現し、勝利につなげることができました。明日も厳しい戦いが予想されますが、全力で戦いたいです。	3	25 第2セット 21	0	監督コメント これから先1戦1戦が非常に大事な試合となるが、その中この1敗は非常に悔しいものとなった。もう一度明日に向け自らやるべきことを確認していきたい。遠い地まではるばる足を運んで応援していただきありがとうございます。明日に向けしっかり準備し戦いたいと思うので、引き続き応援よろしくお願いいたします。	
		26 第3セット 24			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート チーム技術集計のサーブ効果率において、現在、2位のトヨタ車体クインシーズと3位のKUROBEアクアフェアリーズとの対戦。両チームとも強力なサーブを武器にしている。個人技術集計の攻撃決定本数においては、トヨタ車体のダニエルが1位で猛打を振るっており、KUROBEがこのダニエルにどう対応するか注目したい。第1セット、序盤からKUROBEがサーブでトヨタ車体のレシーブを崩し、コクラム、イヴェギンがスパイクを決める展開で得点を重ね11-6と主導権を握る。トヨタ車体もダニエルのスパイクなどで17-19と2点差まで追いつくが、KUROBEの中村がダニエルをブロックするなど4連続得点し、トヨタ車体を突き放しセットを先取した。第2セット、前セットとは逆の展開となる。序盤からトヨタ車体がサーブでKUROBEのレシーブを崩し、ダニエルが打点の高いスパイクを次々と決める展開で12-8とリードする。ここからKUROBEが徐々に得点を詰める。13-15から山口のブロック、イヴェギンのスパイクなどで5連続得点し一気に逆転すると、完全に流れはKUROBEに移る。最後はコクラムがスパイク、ブロックで3得点しセットを連取した。第3セット、このセットもトヨタ車体が序盤からハッター、ダニエルのスパイクなどで逆転するが、KUROBEはセッターを菊池に代えると流れが変わった。ここから高橋、山口のスパイクなどで5連続得点し、更にリリーフサーバーの梅津が連続でサーブ効果率を上げて5連続得点して逆転する。デュースの末、KUROBEがこのセットも奪い、ストレートで勝利した。					

試合番号 : 412	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイニング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 1,283			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:26	試合時間 : 01:26			
主審 : 國頭 亮太	副審 : 上村 英紀				
ヴィクトリーナ姫路	通算 2勝 19敗 ポイント: 11	15 第1セット 25	3	東レアローズ	通算 15勝 6敗 ポイント: 43
監督コメント 本日も多くの皆様にご来場いただき誠にありがとうございました。序盤にサーブで崩されてゲームの主導権を握られてしまったことが悔やまれます。力のある東レアローズに対して先手を取っていかねばならないところ、後手に回ってしまいました。第3セットにわずかではあるが攻撃面で良い展開を發揮できたことは収穫であったので、攻守においてしっかり立て直して明日の試合に臨みたいと思います。明日もご声援よろしくお願いいたします。	0	18 第2セット 25	3	監督コメント 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。先週の敗戦からたくさんの課題が出た中で、今日はサーブで崩し、そこから自分達の持ち味である攻撃が機能したことが勝因になったと思います。明日の試合もスタートから自分達のペースに持っていきけるよう、しっかり準備したいと思います。応援よろしくお願いいたします。	
		21 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 2レク最終週をホームゲームで迎えたヴィクトリーナ姫路と東レアローズとの対戦。第1セット、序盤から姫路はブラクや宮部、東はクランや石川、小川にボールを集め、一進一退の攻防となる。試合が動いたのは中盤、姫路は全員バレーでボールに食らいつくが、東は関、石川のサービスエースでレシーブを崩すと一気に点差を広げ、黒後、真鍋の活躍で得点を重ね、セットを先取した。第2セット、姫路は古市、宮部を中心に攻撃をするが、東はクランがコースをついたスパイクを決めると、セッター関の多彩なトスワークで攻撃を引き出し、石川の緩急をつけた攻撃でリードを広げる。粘る姫路もブラクや宮部の攻撃で応戦するが、東は野呂の攻守にわたる活躍で得点を重ね、このセットも取る。第3セット、中盤まで一進一退の攻防となり、姫路は金田、ブラク、宮部が、東はクラン、野呂の攻撃で進出。姫路も佐々木やブラクの攻撃で必死に食らいつくが、東は高さのあるクランのバックアタック、小川のサービスエースで流れを掴みこのセットも奪い、勝利を飾った。					

試合番号 : 413		試合会場 : SAGAプラザ総合体育館 (佐賀県総合体育館)				観客数 : 1,136		
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:16		試合時間 : 02:16		主審 : 千代延 靖夫		
						副審 : 江口 祐一郎		
久光スプリングス		通算	14勝	7敗	25	第1セット	22	
			ポイント : 40		25	第2セット	27	
監督コメント	佐賀のホームゲーム残り2試合、応援の力を借りつつ、チーム一丸となつて、2戦を勝ち切るべく意気込んで本日の試合に臨んだ。相手のミスに助けられるシーンが多く、なかなか自分達の良いリズムを作れないことが多かった。明日のゲームは、相手も久光に対応してくると思うので、相手の対策以上のバレーを展開できるようにしっかり準備したい。本日のホームゲーム、たくさんの応援ありがとうございます。明日の試合も共に戦いましょう。		3	1		デンソーエアリービーズ		
						通算	9勝	12敗
						ポイント : 28		
						土曜日に勝ち星をあげる為にスタートから攻めようと試合に臨みました。序盤はサーブも走り、ブロックポイントも出て、先手を取ることが出来ました。しかし、相手の追い上げを抑えられずにセットを失いました。チームのディフェンスが機能して、リズムを作る場面もありましたが、流れを掴んだ後に、自分たちのミスで流れを失うことが多い試合となってしまいました。明日に向けて気持ちの切り替えと修正をしていきます。本日は熱い応援ありがとうございます。		
								25
25	第4セット	21						
						第5セット		
要約レポート								
第1セット序盤、デンソーエアリービーズがネリマンのサービスエースなどでリードを奪う。久光スプリングスはファンヘッケの強打で徐々に点差を縮めると、長岡の連続スパイクで逆転に成功。終盤久光は中島、荒木の連続ブロックで一気に流れを引き寄せ、セットを先取した。第2セット、久光は第1セットの勢いそのままに石井や中島のスパイク、濱松のブロックでリードを広げる。しかし中盤以降、デンソーは中元、ネリマンのスパイクなどで怒涛の追い上げを見せ、デュースの末、大逆転でセットを奪取した。第3セット、両チームともにサーブが効果的に決まり、中盤まで一進一退の攻防が続く。終盤、荒木がネリマンのスパイクをブロックで仕留めて流れを掴むと、そのままセットを奪った。第4セット、久光は濱松、石井のサービスエースでリードを奪う。デンソーは兵頭、ネリマンを中心に反撃を試みるも、久光は最後まで組織的な守備で高い集中力を見せ、3-1で勝利を収めた。								

試合番号 : 414		試合会場 : 宮崎市総合体育館				観客数 : 713		
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:24		試合時間 : 01:24		主審 : 佐々木 伸子		
						副審 : 黒岩 健		
JTマーヴェラス		通算	16勝	5敗	25	第1セット	17	
			ポイント : 47		25	第2セット	16	
監督コメント	先週の敗戦から自分達の強みをどう出していくかを考えた。相手は攻撃力と高さがあるチームなので、しっかりと点数を取れる時に取らなければならない。メンバーが色々変わり難しい試合となりましたが、サーブとブロックディフェンスが機能し、自分達のリズムで試合を進めることができました。宮崎でのホームゲーム、多くの方々の応援ありがとうございます。明日もしっかりと準備していきます。		3	0		PFUブルーキャッツ		
						通算	9勝	12敗
						ポイント : 28		
						良いゲームが出来たと思うが、勝つことはできなかった。自分たちにとって良い経験になったと思うので明日のゲームで全力を尽くしたい。本日も応援をして下さった皆様ありがとうございます。		
								25
第4セット								
						第5セット		
要約レポート								
スポーツキャンプで賑わいを見せる宮崎市でのホームゲーム、勝つて首位を死守したいJTマーヴェラスと連勝し勢いに乗るPFUブルーキャッツとの一戦。第1セット、JTは序盤から多彩な攻撃で7-0とリード。PFUは志摩、鍋谷、バルデスのスパイク、堀口のサーブで追い上げるも、JTロウの高さのあるスパイクやブロックで突き放し、先取した。第2セット序盤、PFUはアコスタ、志摩、JTはロウ、林(琴)、柳原の打ち合いとなる。中盤、JTロウとタットダオの連続ブロックで突き放しにかかるも、PFUは細沼のブロックから3連続得点で粘りを見せる。終盤JTは、途中起用した東のトスワークが冴え、和田、田中の鋭いスパイクが決まり、連取した。第3セット、後がないPFUはバルデスをスターティングプレイヤーとし、その起用に応えスパイクやサービスエースなどの活躍を見せた。さらにジャンのクイックで序盤リードする。中盤JTは田中やタットダオのスパイクで追い上げ、両者譲らない展開となった。終盤JTは林(琴)、和田、ロウの切れのあるスパイクで突き放し勝利した。本日2月4日は、JT吉原監督の誕生日。記念すべき日にホームゲームで勝利をプレゼントすることができた。								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	-勝	-敗		第1セット	
			ポイント : -			第2セット	
監督コメント						第3セット	
						第4セット	
						第5セット	
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
						副審 :	
		通算	-勝	-敗		第1セット	
			ポイント : -			第2セット	
監督コメント						第3セット	
						第4セット	
						第5セット	
要約レポート							